



1968年1月20日設立
2018-2019年度
国際ロータリー第2750地区多摩中グループ



東京昭島ロータリークラブ

会長・坂山浩二 幹事・畢 焜

会長テーマ “Be The Rotarian” 真のロータリアンになるう”

昭島市・昭和の森

2018年9月20日発行 VOL. 51-10

第2468回 2018年9月13日(木) 秋川霊園国際墓碑墓参例會報告

秋川霊園国際墓碑墓参

11時30分 友愛墓碑前 読経・礼拝・墓参



○司会 国際奉仕チーム 齊藤 貢 チームリーダー

【開会点鐘】12時30分 坂山浩二 会長



来訪者紹介
卓話講師
ASAP副理事長
大沼陽子 様

会務報告

1. 国際慰霊墓碑への墓参お疲れ様でした。新入会員の皆様の中には経緯をご存じない方もいらっしゃるかと思いますが、この国際慰霊墓碑は1973年、クラブ創立5周年の時に戦前・戦中に中国、朝鮮、台湾から日本に来た方々のうち、その後無縁仏となり、昭島市福島の広福寺にて安置されていたご遺骨を納め慰霊するために当クラブが建立したもので墓碑正面の「友愛」の文字は当時の鈴木ガバナーの揮毫によるものです。



2. 本日の例会場、セレモニーホールあきる野は、当クラブの元会員であります谷口様のご厚意により、毎年無償にてご提供いただいております。谷口さまの友情に心より感謝申し上げます。
3. 一昨日、昭島市民ゴルフ大会が開催されました。参加者は約200名、当クラブからも多数の会員が参加いたしました。今年7月入会の高橋文博会員が優勝され、齊藤貢会員もシニアの部で準優勝されました。
4. 昨日、第3回指名委員会が開催され、2019-20年度の役員・理事候補者がすべて指名されました。この候補者を今月理事会に上程、その後12月の会員総会にて皆様にお諮りして確定という手順になります。例年より早く、そしてスムーズに進んでいるようです。これは向山会長エレクト、矢口幹事エレクトのご人徳でしょう。
5. 11月に医療支援でベトナムへ参ります。また、来年2月には地区大会がグアムにて開催されます。どちらも参加者を募集しておりますので是非ご参加ください。

幹事報告

畢 焜 幹事

1. 先日案内させていただきました、ベトナム医療支援医療器機寄贈式参加ツアーは齊藤チームリーダーが企画するおもてなし満載の旅となるので、ぜひ参加して下さい。
2. 9月20日(木)に開催される2018-19年度第1回会員研修炉辺会の申込締切は9月15日(土)となっています。たくさんのご参加をお待ちしております。
3. 例会変更の案内 東京立川こぶしRCメックアップの際、ご確認をお願いします。



チーム報告

親睦活動出席チーム

出席報告

丸鶴信一 委員

会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席
54名	5名	49名	28名
事前メックアップ		本日の出席率	
7名		70.00%	
事前メイク	安保会員、植松会員、相田会員 場崎会員、西野会員、柳 会員		
メックアップ	鈴木(主)会員 なし		



親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表 平 雅徳 委員
坂山会長 ASAP副理事長・大沼陽子様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

いつも会場をご提供頂いておりますセレモニーホール谷口様の友情に心から感謝申し上げます。
畢 幹事 ASAP大沼副理事長、卓話をよろしくお願ひ致します。
齊藤さん二週連続の司会お疲れ様です。



本日の合計 20,000円
累計 588,000円
予算達成まで 1,712,000円

【卓 話】

テーマ「カンボジア事業報告」

ASAP副理事長 大沼陽子 様

1月、4月、8月に訪問して参りましたので、訪問の様子と支援の状況をお伝えします。カンボジアでどのような活動をしているのか、4月訪問時の動画を参加した支援者が作ってくれましたのでご覧ください。



＜プロジェクトによる報告＞

毎回このような訪問を重ねながら実際に現場を見ながら支援を積み重ねています。

この動画の訪問時は建築中の小学校校舎の確認とマザー活動に関してのことが中心でしたので、話し合いの場面が殆どはあっていませんでしたが、通常の訪問ではここに各学校での話し合いにかなり時間を費やします。

では、この一年皆様からの支援金でどのような支援が形となったのかをお伝えします

まず、去年開校した高校が順調にスタート致しました。現在新一年生43人ほどです。

1月に訪問した時に「両親が学校教育を受けている家庭」と聞いたところ1名でした。

先生達からは、国からの予算がほとんどなく、本や実験道具やパソコンなどを購入する予算が全くないそうです。8月訪問時に、本を買う為に支援金を渡してきました。

この高校と同じ敷地に、ASAPが寄贈した中学と小学校があります。運動できる広い運動場がありません。

「子ども達に運動を」という思いから、1月に大グラウンドを寄贈しました。これは長谷川理事長が90才お祝いにと全額を寄付しました。100万円でグラウンドが出来ます。カンボジアの子どもたち、地域に大きな貢献が出来ます。皆様いかがなものでしょうか。

8月には、小さな小学校145人が職員室を含む3教室で授業をおこなっていたホンターン小学校に4教室の新校舎を寄贈する事が出来ました。新スタートです。

その他、今まで同様に、新一年生への制服寄贈や、教材や教具を購入する為の教育支援金を支援校全てに支援して学校運営と未就学児童解消へのサポートを実施することが出来ました。

続いて、お待たせしました。

昭島ロータリークラブさんより頂いた例のソーラパネルや、自転車、ピアノのその後をお伝えします。

ソーラパネルの一つを取り付けたMother to Mother活動の作業所に、とうとう電気が入りました。

ここで「移動式」が大きな力を発揮しました。もう一台を使っている小学校にはまだ当分電気が入る予定がないために、そのパネルを移動致しました。

ピアノは、先行投資だといわれたことが残っていますが、まったくそのとおりだったのです



活動が認められて「JHP」よりピアノの寄贈につながったネズミの被害 → ロッカーを購入

ASAPもカンボジアでの活動が12年にもなりますと、色々見えてきたり感じていることがあります。

それは、ポルポトの行った知識人の大虐殺、つまり教育出来る人材がゼロになってしまったことの重大さです。教育出来る者が国内にいなくなったという事は本当に大変と実感します。



教員養成校に視察に行きました。

＜音楽の事例＞

音楽教室で音楽を教える先生がおりません。音楽だけではなく美術や体育など同様です。

先ほどご紹介したASAPの大グラウンドに話に戻させていただきますが、運動が出来るグラウンドが出来ても、生徒への体育指導を知っている先生がいないのです。経験がないからです。

小さなNPOのできることはたかが知れてはいますが、出来ることは行っていきだと思えます！

今年の夏に教員対象の体育講習会を開きました

先生の感想を紹介します

12年経つと教育事情も変化し、シェムリアップの街もきれいに変化し貧富の差が以前よりも大きくなっているのを実感します。活動の中では泣きたくなるような忙しくてつらい事も起きます。それでも真つ黒な洋服を着た子ども達、お米とほとんど具のないスープのご飯、一回り小さい子ども達、そんな村の様子を見ている者としては今活動を止めるわけにはいきません。

校舎が建っても、トイレが全く機能していない学校があります。教室が足りず掘立小屋で勉強している子供たちがいます。

そんな私の背中を支えてくれているのは、今回の様に、活動を支えて下さる方々の存在です。

本日は報告をお聞き頂きありがとうございました。



＜お知らせ＞

カンボジアの現役先生たちと語る
いま、なぜカンボジアに教育支援なのか
～ポルポト政権の爪痕～

カンボジアの子供たちの絵画展
同時開催 「はじめて描いた友達顔」

入場無料
定員40名
事前申込必要

2018年9月28日(金) 10:00~12:00

会場：学校法人多摩川学園 多摩川幼稚園
東京都あきる野市南間430 (JR五日市線 秋川駅 徒歩10分)
主催：特定非営利活動法人「アジアの子どものための就学を支援する会」
後援：ゆうちょ財団

当日のゲスト

トロボアンブレイ高等学校
ウィラ校長先生

トロク小学校教員
コラホ先生

KHJ Tour and Travel Co., Ltd
ポツバーさん

お申込み方法など、うら面をご覧ください

謝辞・記念品贈呈
奉仕プロジェクト委員会
向山英雄 委員長



点鐘閉会

坡山浩二 会長



左より 畢 幹事、向山委員長
ASAP副理事長・大沼陽子様
坡山会長

例会案内

9月27日(木) 第2470回例会
卓 話